

現代アフリカ地域研究センター特任研究員募集要項

1. 職名及び員数
特任研究員 1 名
2. 所属
現代アフリカ地域研究センター（2017 年 4 月 1 日新設の学内承認済。概要は次頁以下参照）
3. 担当業務
(1) 現代アフリカ地域研究センターの運営・主催事業に関する業務
(2) 同センターの海外拠点の設置・運営に関する業務
(3) 同センターの趣旨に沿った研究および発表
4. 専門分野
アフリカ地域研究（アフリカを主たる研究対象地域とする国際政治学、国際経済学、国際社会学などを含む）
5. 応募資格
アフリカなど海外への出張（数か月になる可能性あり）ができ、現地での業務に支障のない言語運用能力を有すること。
博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を取得していることが望ましい。
国籍は問わないが、日常的なコミュニケーションが日本語で行えること。
6. 採用予定日と任期
(1) 採用：2017 年（平成 29 年）6 月 1 日（木）（着任時期については応相談）
(2) 任期：2 年（更新あり、ただし 5 年を限度とする）
7. 待遇
給与等の就業条件については、国立大学法人東京外国語大学特定有期雇用職員就業規則に従う。
8. 勤務条件
勤務時間は週 38 時間 45 分（裁量労働制 1 日 7 時間 45 分みなし労働）
9. 提出書類
(1) 履歴書（所定の様式）1 通
(2) 研究教育業績一覧（所定の様式）1 通
(3) 主要業績 3 点
10. 書類提出先
〒 183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
東京外国語大学総務企画部研究協力課
（封筒に「現代アフリカ地域研究センター特任研究員応募書類在中」と朱書きで明記し、書留郵便又は宅配便で送付してください。持ち込み不可）
11. 連絡先
東京外国語大学総務企画部研究協力課
e-mail : kenkyu-hosa@tufs.ac.jp
（問合せは上記 e-mail 宛てにお願いします。）
12. 提出締切日
2017 年（平成 29 年）4 月 21 日（金）
13. 選出方法
(1) 選考は書類審査及び面接により行う。
(2) 面接は書類審査合格者のみ行い、これにかかる経費は応募者の負担とする。
(3) 面接は 5 月上旬に実施する。
(4) 採否は 5 月下旬に通知する。
(5) 不採用者の応募書類は本学において責任を持って廃棄する。

現代アフリカ地域研究センターについて

○センター概要

東京外国語大学における長年のアフリカ研究の蓄積を踏まえて、現代アフリカの諸問題に関する研究の拠点として2017年4月に設立。現代アフリカに関わる研究や教育の拠点としての機能に加え、アフリカ研究者の招へいや国内外のアフリカ研究機関との連携を通じて現代アフリカ研究のネットワークを構築し、そのハブとして機能することを目指す。研究・教育やネットワーク構築の成果は、現代アフリカの諸問題に対応できる人材の育成や関心を共有する諸機関への幅広い情報提供によって社会還元するとともに、ウェブサイトを通じて積極的に発信する。

○人員体制

センター長：武内進一(前JETROアジア経済研究所地域研究センター長)

センター教員：大石高典
中山裕美
出町一恵

※このほか、大学院総合国際学研究院、アジア・アフリカ言語文化研究所所属の教員が兼任教員としてセンター事業に参画する。

○センター所在地等

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-1-1
東京外国語大学府中キャンパス研究講義棟4階401室
電話・FAX：042-330-5540
e-mail：africanstudies-center@tufs.ac.jp

※こちらに採用に関する問合せをしないでください。

○今後の展望

【平成29年度】

センター立ち上げの初年度。対外的に立ち上げを告知し存在をアピールするとともに、対内的にセンター業務の範囲や役割分担を明確化する。

- ・センター設置の告知：開所式開催、日本の研究機関訪問
- ・研究ネットワークの構築：アフリカをはじめ、欧米・アジアの研究機関訪問、研究者招へい
- ・研究活動の発信：キックオフシンポジウム開催、webサイトを利用したアフリカ情報の発信

【平成30年度】

現地拠点を設置し、世界のアフリカ研究者との関係を深化させる。アフリカ研究者の招へいを増加させる。翌年度開催されるTICAD VIIに向けた準備を開始する。

- ・研究ネットワークの深化：アフリカ現地拠点の開設、海外研究機関訪問継続と研究者招へい増
- ・研究活動の発信強化：科研関連研究会も含めたシンポジウム・セミナーの開催、webサイトによる情報発信の充実

【平成31年度】

センターの活動を本格化させる。研究者の招へいをさらに増加し、世界のアフリカ研究機関とのネットワークを深化させる。この年に開催されるTICAD VIIにおいて、センターの存在感を打ち出す

- ・センター活動の本格化：アフリカ現地拠点活動によるアフリカ研究機関との連携強化、TICADVII への協力
- ・研究活動の発信継続：通常のシンポジウム・セミナーに加え、TICAD VIIに関する情報の発信、情報発信ツール多様化の検討

【平成32年度】

前年度までの活動を発展させ、センター事業を軌道に乗せる。TICAD VIIのフォローアップを実施するとともに、2021年度に予定されている総括シンポの準備を開始する。

【平成33年度】

センターの活動を更に拡大するとともに、センター設立5年目を1つの節目と位置づけ、総括的なシンポジウムを実施する。

- ・センターの活動検証：総括シンポジウムの実施

※各年度の事業計画は現時点での予定であり、変更になる可能性があります。